

令和6年度第1回奥州市上下水道事業運営審議会 会議録

会議の名称		令和6年度第1回奥州市上下水道事業運営審議会		
開催日時		令和6年8月23日（金）午前10時～11時10分		
開催場所		江刺総合支所 旧全員協議会室	公開の可否	可
事務局（庶務）		上下水道部経営課	傍聴者数	1人 （報道関係1人）
委員	出席者	境田洋春、及川和人、内田直史、小沢利彦、及川瑞江、柏山裕司、松本京子、佐藤久喜、高橋文香、高橋寿幸、松好悦子、佐藤有紀、若槻慎也（以上13人）		
	欠席者	千田喜久雄、伊藤千恵（以上2人）		
市（出席者）		小野寺隆夫副市長（所用により中座）、 齊藤理上下水道部長、 経営課：吉田俊彦課長、大越克芳課長補佐、 菅野英樹下水道経営係長、小園江匡博主任、橋本理恵主事 水道課：佐々木啓二課長、近藤天雄主幹、佐々木徹課長補佐、 小原竜樹課長補佐 下水道課：菊地康課長、伊藤秀紀課長補佐（以上13人）		
議題		汚水処理事業について		
備考		・委嘱状の交付 ・会長・副会長の互選		

会 議 内 容		
件 名	結 果	特記事項
汚水処理事業について	(説明のみ)	

(吉田経営課長)

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

まだお見えになっていない方もおられますが、定刻となりましたので、進めさせていただきます。

開会に先立ちまして、委嘱状交付を執り行わせていただきます。

【委嘱状の交付】

名簿順により副市長より委嘱状を交付

【会議の成立】

(吉田経営課長)

続きまして、本日の欠席及び定足数の報告をします。欠席のご連絡いただいておりますのは、伊藤千恵委員、千田喜久雄委員がいらっしゃってないので、欠席は2名になっております。現在の出席委員は13名でございますので、奥州市上下水道事業運営審議会条例第5条の規定されている定足数に達しておりますことをご報告します。

1 開会

(吉田経営課長)

それではただいまより、令和6年度第1回奥州市上下水道事業運営審議会を開会いたします。

2 副市長挨拶

(吉田経営課長)

初めに、奥州市副市長小野寺隆夫より、ご挨拶申し上げます。

(小野寺副市長)

皆様おはようございます。本日は何かとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

日頃から、本市上下水道事業の運営について、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ただいま、委員の皆様へ委嘱状を交付させていただいたところですが、任期は本年8月から令和8年6月末までの2年となりますので、何卒よろしくお願いいたします。

市の諮問機関の委員として、今年度については、下水道事業経営戦略改定版の策定に関

して、来年度は水道事業における経営戦略改定版の策定及び下水道事業における具体的な実施事業などを中心に、ご審議をいただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

本市の上下水道事業は、これまで、胆沢ダムからの受水に伴う様々な施設の創設事業や老朽管の更新などに取り組むとともに、料金収納業務等の包括的民間委託など、日々、経営の合理化に取り組んでおります。

また、人口減少や一般家庭の節水器具の普及などにより水需要の減少に加え、近年の物価高騰による影響が見込まれる一方で、高度経済成長期に布設した管路の更新需要の増大、さらには、災害に備えた管路や施設の耐震化などを進めていかなければならないため、経営を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。

このような中で、昨年度においては、審議会より水道料金の改定に関する答申をいただき、今年4月の検針分から、平均11.6%の値上げを行ったところであります。引き続き上下水道事業の健全経営に努めながら、住民の皆様のライフラインを預かる業務として、今後とも、安心・安全な水の供給と、水質保全及び改善による生活環境の向上を図ってまいりたいと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

(吉田経営課長)

恐れ入りますが、副市長におきましては次の業務がございますので、ここで退席させていただきます。ご了承を、どうぞよろしくお願いいたします。【副市長退席】

それでは第1回の審議会となりますので、本日出席している上下水道部の職員を紹介させていただきます。【名簿に基づき出席職員紹介】

3 会長・副会長の互選

(吉田経営課長)

会長・副会長の互選に入る前に、本運営審議会について、条例で簡単にご説明します。お手元の資料の2枚目、奥州市上下水道事業運営審議会条例をご覧くださいと思います。

第1条で運営審議会を市長の諮問機関として設置する旨を規定し、第2条で運営審議会の所掌について、上下水道事業の運営に関する重要な事項について調査審議し、意見を述べるができる、と規定しております。第3条で、審議会は、学識経験者と、水道使用者、下水道使用者の委員15名以内で組織し、委員の任期は2年とする旨が謳われております。第4条、5条では、会長及び副会長の職務内容や会議の招集方法、定足数などが記載されております。

条文を読み上げて説明するべきところですが、時間の関係もございますので、本審議会についての概要説明を終わらせていただきます。

続きまして、会長・副会長の互選に入らせていただきます。会長・副会長が決まるまでの間、齊藤上下水道部長が仮の議長を務めますので、よろしくお願いいたします。

(齊藤上下水道部長)

それでは、会長・副会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。

奥州市上下水道市議会の条例第4条の1項におきまして、審議会の会長及び副会長1人を置き、委員の互選とすると規定しております。互選の方法について、委員の皆様方からのご意見をお願いしたいと思います。

(委員より)

事務局案があれば、それで進めていただければと思います。

(齊藤上下水道部長)

ありがとうございます。事務局案ということでご意見がありましたが、事務局案を提示することによろしいでしょうか。

(委員より)

異議なし。

(齊藤上下水道部長)

それでは事務局から、会長・副会長の提案をお願いいたします。

(吉田経営課長)

それでは事務案といたしまして、会長に境田洋春さん、副会長には小沢利彦さんをご提案します。

(齊藤上下水道部長)

ただいま事務局から会長に境田洋春さん、副会長には小沢利彦さんとの提案がありましたが、ご異議ございませんでしょうか。

(委員より)

異議なし。

(齊藤上下水道部長)

それでは会長に境田洋春さん、副会長には小沢利彦さんをお願いすることにいたします。

会長・副会長が決まりましたので、これで仮議長は終わらせていただきます。ありがとうございました。

4 会長・副会長あいさつ

(吉田経営課長)

境田会長には会長席にお進みいただきまして、一言ごあいさつをいただきますので、よろしく願いいたします。

(境田会長)

ご苦労さまでございます。今ご指名をいただきました境田洋春でございます。どうぞよろしく願いいたします。

前回に続き、審議委員ということで、今回もこういう場に立つことになりましたけれども、上下水道のライフラインについては昨今の災害、これについては本当に危惧をする部分が出てきております。市民の方、利用者の方の安全・安心な、そして継続できる施設維持、そして運営ということが大変重要かと考えております。

市長への意見を提出という内容でございます。いろんな意味でバランスを取る必要があると考えてございますので、今回のこの審議会の運営につきましても、ぜひ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(吉田経営課長)

続きまして小沢副会長、よろしくお願いいたします。

(小沢利彦副会長)

ただいま副会長を拝命いたしました、小沢利彦と言います。微力ではありますが、審議会の運営、進行に、与えられた要職を精一杯全うしたいと思いますので、ひとつよろしくをお願いします。

5 議事録署名人及び書記の指名

(吉田経営課長)

ありがとうございます。続きまして次第の5、議事録署名人及び書記の指名です。指名につきましては特に定めはございませんが、こちらで議事録署名人と書記を指名させていただいてよろしいでしょうか。

【委員了承】

(吉田経営課長)

それでは議事録署名人は名簿順にお願いしておりますので、及川和人委員、内田直史委員にお願いいたします。書記は事務局とさせていただきます。

それではここからは、本審議会条例の規定によりまして、境田会長の進行でお願いします。

6 協議

(境田会長)

それでは、次第の6、協議、汚水処理事業について、になります。事務局の説明をお願いします。

【経営課大越課長補佐より資料について説明】

(境田会長)

事務局の方から、資料に基づいて説明をいただきました。一方的な説明と初めて情報を共有する中身となっています。色々説明はありましたが、なかなか1回で噛み砕いて理解するのは難しいだろうと思うところですが、先ほど、最終ページの16ページ、経営戦略の策定というところ、いずれ国の方では、計画がないところには支援がない、補助しないようになってきているようです。これは会計検査院制度のもとに、きちっとした監査、管理がされる中身が対象となっていると思います。

奥州市は西から東まで60キロありますから、広いエリアで中山間と平地というところでは、いろんな違いがあります。ただ生きている人間は同じですので、バランスが必要かというふうに私は思っております。ただいまの説明を受けましたけれども、委員の皆様から、ご質問があれば、よろしくお願いします。

佐藤有紀委員。

(佐藤有紀委員)。

中身の表現ですけども、前回も申し上げましたが、西暦と和暦がごちゃ混ぜになっている。最後のページは西暦で書いてあるけれども、8ページなんかは、令和、平成、昭和

とかで、どういうことやってから何年経って、どういうふうになっているのかさっぱりわからない。最近では全国的にもマスコミを含めて西暦中心ですから、まずは西暦を書いていただいて、どうしても和暦を使いたいのであれば、和暦をちょっと書くなどしてもらいたい。戦略をまとめていく上でも、意見が出しにくいと私は思っています。ぜひ直してもらいたい。

(境田会長)

ただいま質疑がありましたが、事務局から。

(齊藤上下水道部長)

水道事業の時にもそういったご指摘いただいておりますので、全国的な流れから、西暦中心はその通りかと思っておりますので、今後の資料については、そのように整理していきます。

(佐藤有紀委員)

8ページを見ると、こういうことを始めました。十何年経ってどうなった。そういうことを我々知らないと、意見の出し方も変わってきますので、ぜひお願いします。

(境田会長)

その他ございますか。佐藤久喜委員。

(佐藤久喜委員)

質問なのですけれども、ちょっと地元の方から話があって、個人設置型浄化槽について、合併前の胆沢町時代に設置したときに、行政に寄付をすると、使用料だけ負担してできるということで、個人で設置したやつを、行政の方に寄付をしてやっていたと思いますが、制度が残っているのか。今、市に寄付して、個人で管理するのではなくて、市に管理してもらって、使用料を払いたいという人が何人かいるのですけれども、その制度が残っているかどうか、確認したかった。

(菊地下水道課長)

現在もその制度は残っています。ただ、条件がございまして、設置から10年以内であるとか、良好な状況で使われているか、あとは水質的に問題なく使用されているかという、様々な状況でございまして、ご相談いただければと思います。

(境田会長)

よろしいですか。

その他ご意見ございますか。それでは、無いようでございますから、協議の方は終了したいと思います。よろしいでしょうか。

【委員了承】

7 今年度の審議会について（予定）

(境田会長)

それでは次第の7番、今年度の審議会について、事務局の説明をお願いします。

(吉田経営課長)

本日のご審議ありがとうございました。本年度の審議会の予定ですが、今後は、先ほどお話しした通り、経営戦略改訂版、こちらの策定に係る審議を予定しております。次の第2回につきましては、10月中旬の開催を見込んでおります。改めまして、日程等は文書でご連絡させていただきます。その後の予定につきましては、現時点では、第3回目

としまして、11月下旬と考えております。それ以降につきましては開催状況により検討させていただきたいと考えております。

なお本日、事務局からいろいろ説明をさせていただきましたけども、ご不明な点もあったかと思います。改めましてご意見・ご質問があれば、お配りしております用紙で、ファックス、メールなどで事務局までお送りいただきたいと思います。期限につきましては、9月17日火曜日までといたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、次回以降の審議会では、外部のアドバイザーに出席していただきたいと考えているところでございます。外部のアドバイザーには、第三者の立場から、本審議会へ専門的なご意見をいただきたいと考えているところでございます。お呼びするアドバイザーは、総務省の経営・財務マネジメント強化事業アドバイザーをされておりまして、以前はお隣の岩手中部水道企業団の局長さんをなされていた方で、長年、水道事業に従事されていた方です。現在は総務省のアドバイザーとして、全国の事業体を回って、経営のアドバイスなどをされておりまして、県内や全国の事業体の経営事業事例に詳しい方です。次回以降は、外部のアドバイザーと日程調整をした上で出席をお願いしたいと考えておりますので、お知らせをさせていただきます。

(境田会長)

ただいま事務局の方から説明を受けました。委員の皆様からご質問、ご意見、お願いいたします。

無いようでございますので、次に移ってよろしいでしょうか。

【委員了承】

8 その他

(境田会長)

それでは次、その他に移ります。事務局、或いは委員の皆様の方から、何か、ご意見、質問などありましたらお願いします。

若槻委員。

(若槻委員)

初めてで、いろいろわからない部分もまだあるのですけれども、皆さんが考えられている一番の問題点というのはどういうところなのでしょう。やはり人口減少なのかと私は勝手に思ったのですけれども。差し支えなければ教えていただきたいです。

(境田会長)

事務局からどうぞ。

(齊藤上下水道部長)

人口減少、これは水道・下水だけではなくて、様々なところに影響してきていると思っています。増やすことはなかなか難しいことですが、住環境を整えて、住みやすくし、そして外に出て行くことを防ぐことも必要だと思っています。ライフラインは、そういった意味で、持続可能なものとして、しっかり考えていかないといけないと捉えています。

(境田会長)

若槻さんからテーマは何かという話の中では、いずれ人口減少が、これから2050年には、人口が大体半分ぐらいになってしまうという国のシミュレーションもございます。それは

現実だと思います。いずれ公共事業だけでなく、農業も含めて、いろんな意味で縮小傾向にある。これをどういうふうにして維持をしていくかと。そして、人間が生きていくためにどうすべきか、というところが、問題になろうかと思います。いずれ継続というところで、真剣に考えることが必要であらうかなと思います。

9 閉会

その他ございますか。

無いようでございます。それでは以上をもちまして、令和6年度、第1回奥州市上下水道事業運営審議会を閉会いたします。ご苦労様でした。

令和6年10月3日

議事録署名人

及川和人

議事録署名人

内田直史